

## 2024年度学校評価

		評価対象	A	B	C	D	スコア
楽しい学校	保護者	児童	68.6%	27.6%	3.2%	0.6%	96.2%
	児童	自分	54.9%	29.3%	9.8%	6.0%	84.2%
	教職員	児童	36.8%	57.9%	5.3%	0.0%	94.7%
知力の伸長	保護者	児童	53.8%	34.0%	10.9%	1.3%	87.8%
	児童	自分	44.0%	38.0%	14.1%	3.8%	82.1%
	教職員	児童	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%	94.7%
体力の伸長	保護者	児童	39.1%	42.3%	17.3%	1.3%	81.4%
	児童	自分	61.1%	21.6%	11.9%	5.4%	82.7%
	教職員	児童	47.4%	36.8%	10.5%	5.3%	84.2%
心力の伸長	保護者	児童	44.9%	42.9%	10.3%	1.9%	87.8%
	児童	自分	43.5%	41.3%	12.0%	3.3%	84.8%
	教職員	児童	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	68.4%
友人関係	保護者	児童	50.6%	39.7%	9.0%	0.6%	90.4%
	児童	自分	56.5%	31.5%	7.6%	4.3%	88.0%
	教職員	児童	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%	84.2%
挨拶	保護者	児童	35.9%	38.5%	21.8%	3.8%	74.4%
	児童	自分	43.5%	37.5%	14.7%	4.3%	81.0%
	教職員	児童	5.3%	26.3%	63.2%	5.3%	31.6%
早寝早起き	保護者	児童	39.1%	28.2%	24.4%	8.3%	67.3%
	児童	自分	28.8%	26.1%	25.0%	20.1%	54.9%
	教職員						
朝ごはん	保護者	児童	89.1%	7.1%	2.6%	1.3%	96.2%
	児童	自分	76.1%	14.7%	4.3%	4.9%	90.8%
	教職員						
授業外学習への取り組み	保護者	児童	37.8%	40.4%	16.7%	5.1%	78.2%
	児童	自分	41.3%	34.2%	17.4%	7.1%	75.5%
	教職員	児童	15.8%	57.9%	26.3%	0.0%	73.7%
家庭への情報発信	保護者	学校	55.8%	34.6%	5.8%	3.8%	90.4%
	児童						
	教職員	学校	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	94.7%
相談への真摯な対応	保護者	学校	67.3%	27.6%	2.6%	2.6%	94.9%
	児童						
	教職員	学校	63.2%	31.6%	0.0%	5.3%	94.7%
健康と安全を守る活動	保護者	学校	65.4%	27.6%	5.8%	1.3%	92.9%
	児童※	学校	59.0%	20.8%	14.8%	5.5%	79.8%
	教職員	学校	68.4%	15.8%	10.5%	5.3%	84.2%
施設設備と環境美化	保護者	学校	74.4%	23.7%	1.9%	0.0%	98.1%
	児童	学校	45.1%	34.8%	15.2%	4.9%	79.9%
	教職員	学校	42.1%	52.6%	0.0%	5.3%	94.7%
個への対応	保護者	学校	51.9%	36.5%	8.3%	3.2%	88.5%
	児童	先生	49.2%	26.5%	16.8%	7.6%	75.7%
	教職員	学校	36.8%	47.4%	10.5%	5.3%	84.2%
アフタースクール	保護者	学校	50.6%	37.2%	10.3%	1.9%	87.8%
	児童	学校	60.7%	22.5%	10.1%	6.7%	83.1%
	教職員						

※保護者、児童、教職員を対象に、各項目4段階の評価アンケートを実施した。

※上位2つの肯定的評価の合計を「スコア」と呼ぶこととし、主として保護者と児童のスコアについて述べる。

- ・「楽しい学校」について、児童スコアは昨年度よりさらにダウンし、85%を下回った。開校以来1学年ずつ児童が増えていき、初めて6年生まで揃った今年度、全児童の中で、多感な年齢の学年の比率が昨年よりもさらに上がったためだと思われる。「Fun」だけではなく「Interesting」な「ワクワク」を感じられるような受容力・素地を育てていかなければならない。
- ・「体力の伸長」について、保護者スコアが昨年より伸びて80%を上回った一方、児童スコアは大幅ダウンで90%を下回った。スポーツフェスティバルの大幅刷新など、体育・運動・スポーツにも力を入れてきていただに残念な結果となった。データを示すことや充実感を高めることなど、できる努力を増やしていきたい。
- ・「心力の伸長」「挨拶」については、3年連続で教職員スコアが保護者・児童スコアに対して大きく下回っている。子ども達に「こうあるべき、こうあってほしい姿・目標」を示し、そこに向かって主体的に取り組めるような指導を目指すも、実際にはあまり機能しておらず、教員の実感として「元気な挨拶が響く学校」とはなっていない。来年度、重点的に取り組んでいきたい課題の一つである。
- ・「家庭への情報発信」の保護者スコアが昨年比+6.4%で90%を上回った。新設校で初の取り組みが多いため、特に第一期生のご家庭には常に情報発信が遅れがちであったが、その反省の蓄積で、多少なりとも満足度が上がってきているようであればうれしい。
- ・「個への対応」の保護者スコアは昨年比プラスで80%台後半に回復したものの、児童スコアは昨年比マイナスで80%を下回った。子どもたち自身に「自分を見てもらっていない」と感じさせているわけであり、対応・改善が必要である。学校やクラスなどの『社会』の中における『個』という存在、立ち位置、権利についての理解を促すよう指導していくと同時に、児童の気持ちに寄り添い、声をかけ、きめ細かい心配りをすることをもっと徹底していきたい。